

毛虫の行列

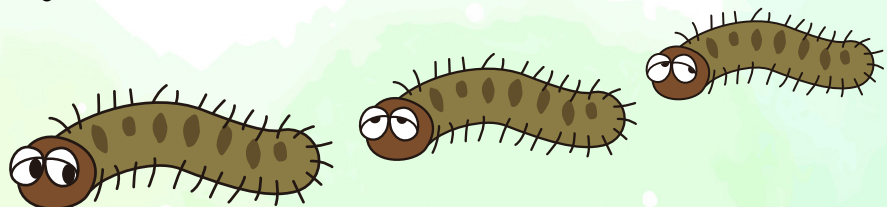
毛虫の行列を見たことがありますか？

彼らは食べ物を探しているとき、リーダーの毛虫が進む方向を決め、他のすべての毛虫はひたすら後についていくそうです。リーダーの毛虫をあまりにも盲目的に信頼し、行動自体も規則的で催眠効果があるため、後ろに続く毛虫たちは目を半分閉じているそうです。

ファール昆虫記を記したファール博士の最も有名な実験の一つが毛虫の行列によるもので、人間と昆虫の心の類似性を考察しました。

ファール博士は、植木鉢に毛虫の好きな松葉を入れ、その植木鉢の縁にリーダー毛虫を誘導し植木鉢の縁をぐるぐる回らせることから実験を始めました。予想通り、しばらくすると群れの残りの毛虫たちがリーダーの後を追い始めました。彼らは角を曲がったところに食べ物があると確信している様子で、植木鉢をぐるぐると回り続けました。視線を変えれば、彼らの頭のたった数センチのところには大好きな松葉があるのに見向きもしません。

そしてこの行列は7日間続き、疲労と空腹で一匹、また一匹と、植木鉢の縁から落ち始めました。とうとうグループのほとんどが餓死してしまいました。数センチ先には全員分の十分な松葉があったのに。



私たちは時として盲目的に、何も考えずに行動してしまうことがあります。あるいは、これまでの慣例や決められた手順に従って行動する傾向にあります。

しかし、世の中が大きく変化している中で、本当にこれまでと同じでよいのか、もっと簡単に、もっと楽にできる方法はないのかと、新しいものにも目を向け、取り入れていくことが改善に繋がり、働き方改革にもつながります。

またリーダーは正しい方向に向かっているのか、従っている部下も正しい方向が分かっているのか、時に立ち止まり、互いに振り返り考えてみることも大切です。

その為には目標を明確にし、年間、半期、月、週、日の単位で行動や実績が確実にその目標に向かっているのか検証し、新たな行動計画を立てて、目標達成に向けて進んでいきたいものです。

あなたの職場は 
毛虫の行列になっていませんか？

